

行政評価シート(事後評価)

コード (114) 12-4-4	事務事業名 大学図書館の開放(武蔵野大学との協力事業)	所管部課 教育部図書館(旧生涯学習部中央図書館)
---------------------	--------------------------------	-----------------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	武蔵野大学と西東京市との協力事業の中で、武蔵野大学図書館の市民開放について平成17年度図書館間での協力関係がまとまった。このことは、市民の学習環境が一段と向上するとともに、大学開放の推進に資するものと考えられる。	<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input checked="" type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等	
	「武蔵野大学図書館利用に関する協定書」及び「武蔵野大学図書館の市民の利用に関する要綱」に基づき各図書館において、武蔵野大学図書館利用カード(40枚)を貸出し、武蔵野大学図書館利用の窓口として機能している。平成17年度は実施開始にあたり担当者が大学側と十分協議を重ねた。 図書の利用として閲覧、コピーはできるが、貸出は行っていない。また1月、7月は大学の試験期間中のため貸出していない。	
事業開始時期	17 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

項目	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
事業費(A)					
財源					
国庫支出金・都支出金					
地方債	千円				
内 其他 ( )					
一般財源			0	0	0
所要人員(B)	人		0.02	0.005	0.005
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	164	41	41
臨時職員等賃金(C')	千円				
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円		164	41	41
単位当たりコスト					
(E)=(D) / ( 利用カード貸出回数 )	千円		1.4	0.4	#DIV/0!

活動等指標	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
利用カード貸出回数	実績値 回		113	107	
	実績値				
(指標の説明・数値変化の理由 など)					
成果指標	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
一 利用カード利用回数	目標値 回				110
	実績値 回		113	107	
二 利用者満足度数	目標値				
	実績値				
(指標の説明・数値変化の理由 など) 今後、利用者アンケート等を取り利用者満足度を図りたい。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	今後アンケートを実施する予定	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	平成18年度大学図書館の市民利用を実施している自治体は26市中8市
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

コード (114) 12-4-4	事務事業名 大学図書館の開放(武蔵野大学との協力事業)	所管部課 教育部図書館(旧生涯学習部中央図書館)
---------------------	--------------------------------	-----------------------------

### 【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>地理的に大学に近い図書館の利用が多い。            大学図書館の市民開放の内容及び交通手段等の極め細やかな案内など、PRの促進を図りたい。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	3			
直接のサービスの相手方	1			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	1			

### 【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>市立図書館では整備していない大学資料の利用を推進することは、市図書館を補完する観点からも有用な事業と考える。            利用拡大に伴いコストが増大することはないと考えるので、アンケートの実施結果等も踏まえ、更なるPRを行い利用促進を図ることとされたい。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	3			
直接のサービスの相手方	1			
事業内容等の適切さ	3			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	1			

### 【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>市民への大学図書館の開放は、市民の学習環境の向上に寄与するものである。今後は、利用促進に向けたPRや利用者に対するアンケートの実施などにより、利用促進を図られたい。</p>